

# 社会科学習指導案

神石郡豊松村立豊松中学校 中村 正博

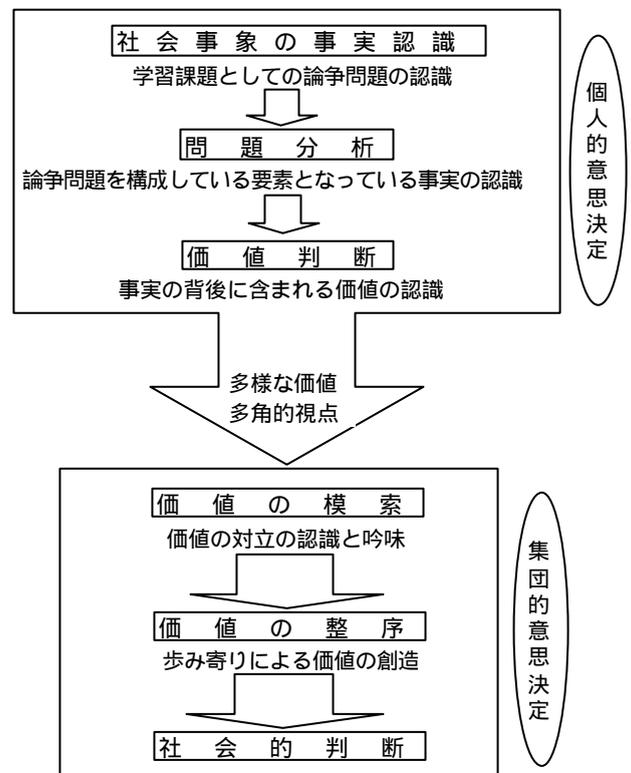
- 1 科目名 社会科公民的分野
- 2 学年 第3学年
- 3 単元名 「環境の保全」 - ゴミ問題を考える -
- 4 単元設定の理由

社会問題を学習内容として取り上げる場合、生徒にとって身近な学習内容を扱うことが、生徒の興味・関心を喚起する上で有効であると指摘されている。生徒一人一人がより切実に自らの問題として学習に取り組むために、今回はゴミ問題を題材として取り上げた。ゴミ問題が抱える複雑な背景を、学校給食にある牛乳パックを用いて生徒に問題として提起した。現在、本校では様々な分野で環境教育が行われているが、自らの問題として環境問題を考え行動できる生徒にまで高まっていないのが現実である。今回の授業実践では、「牛乳パックがいいのか、牛乳びんがいいのか」を様々な側面から分析して意思決定させ、それぞれの歩み寄り条件を交流させることによって合意形成の力を育てるとともに、環境問題を自分の問題としてとらえ、環境保全の大切さを理解させたい。

## 5 単元の目標

社会的 事象への 関心 ・意欲 ・態度	現在及び将来の人類が、よりよい社会を築いていくために解決すべき問題としてとらえ、環境問題に対する関心が高まっている
社会的 な思考 ・判断	環境問題を解決する方策について、現在の豊かな生活や資源の有限性に着目して、多面的・多角的に考察している
資料活 用の技 能・表 現	環境問題に対する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、考察した結果を発表・討論したりしている
社会的 事象に ついて の知識 ・理解	環境問題を解決するためには、企業や国だけでなく一人ひとりの責任をもった行動が大切であることを理解し、その知識を身につけている

## 6 指導計画の視点



7 学習過程（全5時間）

		学習内容	学 習 活 動	支 援 と 工 夫
個人的意思決定過程	事実認識	1 学習課題の認識 「給食の牛乳パックを牛乳びんにすべきである」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の牛乳パックについての問題点を交流する</li> <li>・自分の意見（賛成か反対）を理由を明確にして発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現物を提示し，興味，関心が持てるようにする</li> <li>・黒板に自分の名前を貼り，意見の位置を明示する</li> </ul>
	問題分析	2 論争の要素分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成側，反対側互いに質問や意見を出し合う</li> <li>・それぞれの意見がどの価値に基づくのかを分類する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を価値別に分類しながら議論を進める</li> <li>・論争の対立要素が明確にできるようにする</li> </ul>
	価値判断	3 個人の価値判断 ・歩み寄り条件1の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの意見を事実と価値を明確にして意見交流をする</li> <li>・自分の意見カードに記入する（位置，事実，理由，歩み寄り）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流から意見を変更することがあってもよい</li> <li>・オープンエンドの形で終わるようにする</li> </ul>
集団的意思決定過程	価値の模索	4 価値の対立の認識と吟味（1） ・多角的視点からの分析 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活利便性</li> <li>・個人的嗜好</li> <li>・環境保護</li> <li>・生産効率</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活利便性と個人的嗜好の視点に立って，牛乳パックと牛乳びんのどちらを買うか話し合う</li> <li>・生産効率の視点に立って，牛乳パックと牛乳びんのどちらを売るか話し合う</li> <li>・環境保護に視点を当てて，牛乳パックと牛乳びんのどちらを選ぶかを話し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の意見を資料として活用する</li> <li>・牛乳パックと牛乳びんのゆくえんについて紹介する</li> <li>・ゴミ問題との関連を東城町のゴミ処理実態から押さえる</li> <li>・大量生産，大量消費社会が背景にあることに気付かせる</li> </ul>
	意思決定	5 価値の対立の認識と吟味（2） ・意思決定表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定表を班で話し合い発表する</li> <li>・班発表について学級で意見交流する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班内での意見交流のようすについてもお互いに評価させる</li> <li>・判断基準の度合いについて整理させる</li> </ul>
	価値の整理	6 新しい価値の創造 「給食の牛乳パックを牛乳びんにすべきである」 ・歩み寄り条件1の分析 ・歩み寄り条件2の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩み寄り条件1を可変的条件かどうか分析し，新たな歩み寄り条件2を考える</li> <li>・歩み寄り条件2をもとに，話し合いによって歩み寄りの視点を限定する</li> <li>・学級としての歩み寄り条件を決定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩み寄り条件が単なる主張の強調になっていないかチェックする</li> <li>・歩み寄りによる価値の位置づけをはっきりさせる</li> <li>・歩み寄り条件の内容の重なり合う部分を増やしていきながら，議論を進める</li> <li>・互いの意見を尊重することの大切さを押さえる</li> </ul>

社会的判断	第五時	7 社会的判断 ・合意形成に基づく行動力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸外国のゴミ問題に対する対応について知る。</li> <li>・企業の環境保全に向けた努力を知る。</li> <li>・牛乳パック論争から学んだことをレポートにまとめ発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ問題を解決するためには自分には何ができるかを視点において書かせる</li> <li>・VTR「ゴミの逆襲」を見て環境問題が一人一人の生き方の問題であることに気付かせる</li> </ul>

## 8 評価

### < 環境問題についての評価 >

- ・身近な牛乳パック問題を通してゴミ問題の現状を理解できたか
- ・環境問題を自ら考えようとする態度を養うことができたか

### < 合意形成についての評価 >

#### 個人的意思決定過程（第 次～第 次）

学習課題として論争問題の事実を認識し，問題分析により問題の構成要素を把握できたか。そして，論争問題における個人的意思をそれぞれの価値に基づいて決定するとともに，歩み寄り条件を考えられたか。

#### 集団的意思決定過程（第 次～第 次）

多様な価値基準に立って，多角的な見方や考え方を話し合いによって学び合うことができたか。そして，歩み寄り条件を一人一人考え交流させることによって，価値の整序を行い，合理的社会意思形成の方向へ議論を進められたか。

### 【参考文献】

- (1) 今谷順重 『新しい問題解決学習の授業展開』 ぎょうせい 1990
- (2) 北俊夫 『社会科改革のマスターキー』 明治図書 1998
- (3) 工藤文三・仲村秀樹 「提案『社会的ジレンマ』をどう教材化するか」 『教育科学社会科教育』第425号 明治図書 1996 pp16～29
- (4) 小原友行 「社会科における意思決定」，社会認識教育学会編 『社会科教育学ハンドブック』 明治図書 1994 pp167～176
- (5) 水山光春 「合意形成をめざす中学校社会科授業」 『社会科研究』第47号 1997
- (6) 吉村功太郎 「合意形成能力の育成をめざす社会科授業」 『社会科研究』第45号 1996